第 I 部 溶接界の動き

4 国際的動向

村 川 英 一*

International Activities

by MURAKAWA Hidekazu*

キーワード：IIW, AWF

4.1 IIW 年次大会

- 1) 2006 IIW 年次大会 (第59回) は 8 月 27 日 (日) ~ 9 月 2 日 (土), カナダ国ケベックにて開催され, 39 国 380 名が参加し, 日本からの参加は 60 名 (含 同伴者 15) だった。
- 2) 開会式は 27 日 (日) 18:00 に会議場で行われ, Reynolds カナダ組織委員長, Smallbone IIW 会長, J. E. M. Braid カナダ資源省 CANMET 材料研究所副所長の挨拶があった。
- 3) 続いて各賞は次のとおり授与された。グランジョン賞 (若手研究者): Category A: H. Pantsar (フィンランド), W. Zhang (米), B: T. Anderson (米), C: A. Lasseigne (米), D: J. Sowards (米), アーサーミス賞 (委員会活動への貢献): A. Hobbacher (独), 荒田賞 (基礎研究への貢献, 賞金 5 千ドル, 賞金は本年限り): T. DebRoy (米), エドストルム賞 (技術・運営への貢献, 毎年): B. Pekkari (スウェーデン), パトン賞 (先進技術・材料・機器の応用・発展): S. Anderson (英), トーマス賞 (国際規格制定への貢献): D. von Hofe (独)。
- 4) 公開研究集会 (International Conference) (第 25 回) は「Tubular Structures」のテーマで 31 日 (木), 9 月 1 日 (金) 及び 2 日 (土) の 3 日間, トロント大学土木工学科・第 XV 委員会 E 分科会・CIDECE (管構造開発研究国際委員会) により共同開催され, ウードレモン記念講演: J. Packer (カナダ) “Tubular brace member connections in braced steel frames”, ISTS 黒羽記念講演及び CIDECE 会長賞 (学生表彰) に続いて, 14 セッション計 92 件の講演が行われた。
 論文集は Welding in the World 別冊として出版され, 大会後も有料で入手できる。
- 5) 会期中, 理事会, 総会, 15 の常設の技術委員会, 合同委員会, 技術者資格認証関係委員会の 3 委員会, 6 つの特別委員会, 2 つのスタディーグループ, TMB, 出版ワーキンググループ, 地域会議などが例年同様行われた。産業見学は 5 カ所あった。
- 6) 今後の年次大会及び公開研究集会のテーマは次の

通り。

2007 年 7 月 1 日 ~ 8 日 ドブロニク (クロアチア) Int. Conf. "Welding and Materials - Technical, Economical and Ecological Aspects"

2008 年 7 月 6 日 ~ 12 日 (グラーツ, オーストリア), 2009 年 7 月 12 日 ~ 18 日 (シンガポール), 2010 年 7 月 10 日 ~ 18 日 (キエフ, ウクライナ), 2011 年 9 月 第 1 週 (ムンバイ, インド)

7) 地域会議 (Regional Congress)

バンコック (タイ, 11 月 21 日 ~ 22 日) で開催されたが, 日本から 10 名参加した。

今後の予定は次のとおり。

2007 年 3 月 7 日 ~ 9 日 (シドニー, オーストラリア), 2007 年下期 (メキシコ), 2008 年上期 (ブラジル), 2008 年 1 月 8 日 ~ 10 日 (Chennai, インド), 2008 年 5 月 (中国), 2009 年 7 月 (イラン), 2010 年 1 月 (イスラエル)

4.2 AWF (アジア溶接連盟) の活動及び総会

第 4 回北京 (中国, 5 月 17 日, 日本 4 名) 及び第 5 回バンコック (タイ, 11 月 24 日, 日本 9 名) に参加した。総会前後には, 開催国の要請により, 開催国と合同で日本・アジア若手セミナー (海外溶接基礎セミナー, 記念基金助成活動「グローバルネットワークの形成プロジェクト」と共催) が行われた。それらの成功により, 新たに AWF の行事として発展し, 引き続き, 次回以降の開催国からも開催が要請されている (詳細は本誌掲載報告記事参照)。今後の会合予定は次のとおり。2007 年 10 月 23 日, 24 日 (インドネシア EXPO (ジャカルタ) に併設してバリにて), 第 10 回 (2008 年 2 月, インド, New Delhi), 第 11 回 (2008 年 8WS 会期中の 1 日, 京都)。

4.3 第 8 回国際シンポジウム (8WS) の 2008 年 11 月 16 日 ~ 18 日 (京都) 開催を決めた。

原稿受付 平成 19 年 6 月 4 日

*正 員 大阪大学接合科学研究所 Member, Joining and Welding Research Institute, Osaka University